

降雪時の支え合いの取り組みについて（グループワーク）

1. 課題解決に向けた行程

今ココ！

第 1 回:10 月本会

現状の共有

取り組み事例の共有を行いました。

第 2 回:11 月本会

課題の洗い出し

降雪時の支え合いの取り組みの輪を地域で広げるための課題の洗い出しを行います。

第 3 回:12 月本会

アイデア出し

第 2 回で話し合った課題の解決策のアイデア出し

2. 第 1 回（10 月本会）の振り返り

支え合いの取り組み・共助が進んでいる地域がある一方で、「助け合いの団体（まごころヘルプ等）への除雪の相談が殺到し、対応できてない」「支え手のマンパワーの不足」「補助制度のことを知らない」「自治会など地域の取り組みを知らない」「困っている人がなかなか SOS を出せない」などの現状もあることがわかりました。

3. 話し合い（グループワーク）

テーマ 地域での取り組みの輪を広げるための課題について

降雪時に支え合いの取り組みの輪を広げるためにはどのような課題があるのでしょうか。グループで話し合い、まとめましょう。

- ① グループでの話し合い 【20分】
 - ・各自で課題をフセンに書き出しましょう（5分）
 - ・グループで1人1人発表しましょう（15分）
- ② グループまとめ 【5分】
 - ・話し合いで出た課題をまとめましょう。
 - ・グループの発表者を決めましょう。
- ③ 発表（1グループ2分）【10分】



4. まとめ

第6期 西区自治協議会委員名簿

(順不同・敬称略)

No.	氏名	所属	備考	
1	田村 信雄	内野・五十嵐まちづくり協議会 会長	1号委員	西①
2	寺瀬 千恵	西内野コミュニティ協議会 副会長	1号委員	西①
20	永吉 秀司	新潟大学 教育学部 芸術環境講座 准教授	2号委員	西①
21	荒井 実	新潟大学 教育学部 学校教員養成課程 学生	2号委員	西①
22	藤田 美幸	新潟国際情報大学 経営情報学部経営学科 准教授	2号委員	西①
23	小林 直起	新潟国際情報大学 経営情報学部情報システム学科 学生	2号委員	西①
24	近藤 純子	西区PTA連合会 会員	2号委員	西①
25	古俣 民	西区老人クラブ連合会 理事	2号委員	西①
26	塩川 英男	新潟西商工会 会長	2号委員	西①
28	渡邊 正友	元専門学校副校長	3号委員	西①
5	小林 勉	坂井輪中学校区まちづくり協議会 副会長	1号委員	坂井輪①
6	下川 照雄	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会 会長	1号委員	坂井輪①
17	五十嵐 加代子	子育て応援サポートセンター うん♡まんま 代表	2号委員	坂井輪①
18	藤丸 圭子	西区民生委員児童委員会会長連絡会 幹事	2号委員	坂井輪①
29	鍋谷 總子	元小学校長	3号委員	坂井輪①
31	郷 扶二子	地域教育コーディネーター	3号委員	坂井輪①
32	坂井 修	公募委員	4号委員	坂井輪①
33	佐野 恭子	公募委員	4号委員	坂井輪①
34	三富 正典	公募委員	4号委員	坂井輪①
7	風間 一夫	東青山小学校区コミュニティ協議会 会長	1号委員	坂井輪②
8	岩沢 孝金	五十嵐小学校区コミュニティ協議会 副会長	1号委員	坂井輪②
9	佐藤 昭	真砂小学校区コミュニティ協議会 会長	1号委員	坂井輪②
10	田中 米三	青山小学校区コミュニティ協議会 総務部会長	1号委員	坂井輪②
11	岩脇 正之	小針小学校区コミュニティ協議会 会長	1号委員	坂井輪②
19	木村 優子	西区社会福祉協議会 副会長	2号委員	坂井輪②
30	高橋 伸絵	防災士	3号委員	坂井輪②
3	小林 邦太郎	コミュニティ中野小屋 副会長	1号委員	西②・黒崎
4	高島 圭介	コミュニティ佐潟 副会長	1号委員	西②・黒崎
12	大谷 一男	黒崎南ふれあい協議会 会長	1号委員	西②・黒崎
13	浅妻 茂行	大野校区ふれあい協議会 副会長	1号委員	西②・黒崎
14	渡辺 美弥子	立仏校区ふれあい協議会 副会長	1号委員	西②・黒崎
15	藤橋 雅廣	山田校区ふれあい協議会 会長	1号委員	西②・黒崎
16	中原 勝芳	佐潟と歩む赤塚の会 会員	2号委員	西②・黒崎
35	山川 豊子	JA新潟みらい 赤塚支店 女性部 部長	5号委員	西②・黒崎
36	高橋 由紀子	新潟市スポーツ推進委員連盟西区協議会 会長	5号委員	西②・黒崎
27	加野 麻理子	西区支え合いのしくみづくり会議 西区支え合いのしくみづくり推進員	2号委員	全体進行

第1回（10月本会）降雪時の取り組み事例情報交換まとめ

1 新中浜町内会の取り組み「おたすけ隊」事例発表（一部抜粋） 会長 倉林正喜氏

○「おたすけ隊」（除雪に関する部分）について

- ・世帯数は688世帯
- ・除雪に関するお助け隊登録者は隊長、副隊長など15名（会社員2名含む、60歳台後半から80歳位まで、さまざまな仕事を経験された方々）
- ・今年で結成8年目、結成するために、活動目的やこうゆうことをやりたいと一人ずつ説得し、徐々に輪が広がった。
- ・目的は、①子どもの通学路（歩道）の確保、②要介護、要支援者宅の玄関から道路までの除雪、③業者が積み残した雪の塊の粉碎
- ・従事は午前6時～9時までで、3時間以上は実施しない。
- ・有償ボランティア、傷害保険に加入
- ・小型除雪機、スノーダンプ、スコップを使用
- ・内野小学校に行くまでの26カ所の交差点等を除雪
- ・要介護、要支援者宅の玄関からの除雪については、11月下旬～12月初旬に回覧板で除雪をお願いしたい世帯を募集、22世帯程度の実施

2 西区自治協委員からの取り組み事例報告（一部抜粋）

寺瀬委員（西内野コミュニティ協議会）

- ・おたすけ隊を編成しているところが何カ所かあるが、まだ編成までいかないところが多い
- ・おたすけ隊のかたちを目指している状況が進んでいる
- ・それぞれの自治会の状況に合わせて検討しながら頑張っている。

小林邦太郎委員（コミュニティ中野小屋）

- ・道が狭いために除雪車が入らない所が多いが、農家組合に委託をしてトラクター除雪を行っている。

高島委員（コミュニティ佐潟）

- ・赤塚地区は、農家組合等に委託をして除雪を行っている。
- ・新興住宅地のみずき野地区は、心配していたが、お互い助け合って除雪をしている姿がみられたので心強く思っている。

風間委員（東青山小学校区コミュニティ協議会）

- ・一部の自治会で、区の除雪機を借りて除雪していると聞いている。

岩沢委員（五十嵐小学校区コミュニティ協議会）

- ・狭い道路が多い地域
- ・黒埼地域の農家から協力いただき、トラクターを活用して除雪を行い、役員が立ち会っている。

木村委員（西区社会福祉協議会）

- ・五十嵐コミュニティ協議会内の自治会の状況になるが、通学路や歩道、高齢者の玄関前の除雪を行っている自治会や黒埼地域の農家のトラクターを頼んで除雪を行っている自治会がある。
- ・個人の取り組みですが、降雪時のごみ出しや買い物支援を行っている事例もある。

佐藤委員（真砂小学校区コミュニティ協議会）

- ・おたすけ隊という名称で活動を行っている自治会がある。
- ・高齢者が多く、なかなか組織として継続できない自治会も多い。
- ・除雪については、現在検討中

下川委員（坂小・小新中学校区まちづくり協議会）

- ・共助の考え方が定着している。
- ・要支援者等については隣同士での協力をお願いしている。

岩協委員（小針小学校区コミュニティ協議会）

- ・袋小路等道路が狭いところがある。
- ・共助の意識が薄くなってきている。共助の考えを浸透させていかなければいけないと思う。

大谷委員（黒埼南ふれあい協議会）

- ・農村地域で、各戸の除雪面積が大きく、自助努力で除雪を行っており、支え合う余力がないのが現状

浅妻委員（大野小学校区ふれあい協議会）

- ・農村地域で、各戸で除雪機を持っていて、排雪地も多いので大丈夫

藤橋委員（山田小学校区ふれあい協議会）

- ・私道は、ほとんど除雪業者をお願いしている。
- ・通学路については、PTAが協力して行っている。

渡辺美弥子委員（立仏校区ふれあい協議会）

- ・通学路は、近所の方や見守り隊の方が協力して除雪を行っている。
- ・バス停やごみステーションは近所の方が除雪をしてくださっている。

藤丸委員（西区民生児童委員会長連絡会）

- ・自治会と民生委員が話し合って、大変そうな世帯を積極的に回るようにしている。
- ・役員の善意に甘えているだけでは長く続かないと感じている。

加野委員（西区支え合いのしくみづくり会議）

- ・新潟市社会福祉協議会、西区社会福祉協議会でも地域の取り組みを把握しようという目的で「見守り・支え合いBook」を作成しているが、全部把握できていない現状がある。
- ・「まごころヘルプ」等の住民同士の助け合いの団体はあるが、降雪時に相談が殺到していて、なかなか手が回っていない。
- ・地域での素晴らしい取り組みを知らない方がいる。
- ・自分からSOSを出せない方もいる。そういう方の視点も含めて今後皆さんと検討をしていきたい。

